

平成 26 年度 茨木市教育センター主催
教育センターフォーラム 実施要項
新プランとリンクした先進的研究「共有」のために・・・

先進的研究の実践、今日的教育課題の調査分析の報告をとおして、児童生徒の知徳体バランスのとれた学力向上につなげるべく知見を広め、今後の学校教育の充実に役立てる。

1. 日 時 平成 27 年 1 月 28 日 (水) 15 : 30 ~ 17 : 00
 (受付 15 : 00 ~)

2. 会 場 茨木市市民総合センター
 (クリエイトセンター)
 〒567-0888 大阪府茨木市駅前町四丁目 6 番 16 号
 3 階 セミナー 301 号室、302 号室、303 号室
 4 階 教育工学室



JR 茨木駅または阪急茨木市駅から、いずれも徒歩 10 分です。

3. 対 象 保育所 (園)・幼稚園・小・中学校教職員、府内教育関係者、茨木市民

4. 発 表 者 情報教育所員 4 名・言語教育所員 4 名・支援教育所員 5 名
 理科教育所員 2 名・調査研究所員 1 名・不登校児童生徒支援室 1 名
 巡回相談員 2 名

5. 申 込 管理職の先生を通じてお申込みください。
 申込期間 12 月 10 日 (水) ~ 1 月 21 日 (水)

6. 内 容

教育センターフォーラム (平成 27 年 1 月 28 日) 分科会発表一覧および発表順

順	ジャンル	第 1 分科会 (3F セミナー 301)	第 2 分科会 (3F 302)	第 3 分科会 (3F 303)	第 4 分科会 (4F 教育工学室)
		①到達目標と評価 (外国語活動) ～バックワードデザインの授業づくり～ ②教材開発 (外国語活動) ～「発信力」を高めるための教材づくり～	③ユニバーサルデザインの視点での 授業づくりと通級指導教室の実践 ④1 年生サポート巡回相談実施報告	⑤小中連携 ～児童生徒へのアンケート結果から～ ⑥不登校児童生徒への支援 ⑦思考力を育む理科の仕掛け	⑧ ICT 機器を活用した授業 ⑨ 情報モラル教育の実践
1	3:40	① 小中連携を意識した “Can do リスト”作成にむけての 取り組み 小学校 言語教育所員	③ ユニバーサルデザインの視点での 環境設定と授業づくり 小学校 支援教育所員	⑤ 小中連携を進めるために ～児童生徒へのアンケート結果か ら考える～ 調査・研究所員	⑧ 普通教室でのタブレット PC 活用事例 小学校 情報教育所員
2	3:55	① めあてどふりかえりを大切に！ バックワードデザインと小学校版 Can do リスト 小学校 言語教育所員	③ ユニバーサルデザインの視点での 授業づくり 中学校からの実践報告 中学校 支援教育所員	⑥ 視点を養えると子どもが見える！ 不登校児童生徒へのアセスメントと ふれあいルームの活動 教育センター不登校児童生徒支援室	⑨ 学校全体で取り組む 情報モラル教育 小学校 情報教育所員
	4:10	<休憩>	<休憩>	<休憩>	<休憩>
3	4:20	② 小中連携を意識した “北中外国語活動スタンダード”作 成にむけての取り組みと交流 小学校 言語教育所員	④ 1 年生サポート巡回相談 ～ひらがな到達度チェックより～ 教育センター巡回相談員	⑦ 分析・解釈シートを用いた思考 力を育む授業 中学校 理科教育所員	⑧ 彰都西小学校における 8 年間 情報教育カリキュラムの 実践について 小学校 情報教育所員
4	4:35	② 小中・小中連携を目指した 外国語活動 ～帯活動と ALT の活用～ 中学校 言語教育所員	③ 通級指導教室での取り組みと 授業実践 中学校 支援教育所員	⑦ 「備えあれば…実りあり！」 小学校 理科教育所員	⑧ 新規導入の ICT 機器 活用例 デジタル教科書・タブレット PC e ライブラリの活用 中学校 情報教育所員

※本フォーラムは、情報教育協議会、外国語活動・英語教育推進担当者会を兼ねております。
 ※本フォーラムは、教志セミナー受講生の受け入れを可とする研究発表大会として位置づけます。

※各発表ごとに会場移動は可能ですが、発表中の入退室については十分ご注意ください。
 ※各発表の概要については、別添の「教育センターフォーラム 発表テーマ及び概要」をご覧ください。

連絡先
 〒567-0888
 大阪府茨木市駅前町四丁目 6 番 16 号
 茨木市教育委員会 学校教育部 教育センター
 担当：指導主事 田中賢一郎
 TEL 072-626-4407
 FAX 072-626-4510
 E-mail: ken_tanaka@educ.city.ibaraki.osaka.jp